



平成22年4月30日

各 位

会 社 名 共同印刷株式会社
 代表者名 代表取締役社長 稲木歳明
 (コード番号 7914 東証第1部)
 問合せ先 取締役経理部長 大久保隆司
 (TEL. 03-3817-2101)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年5月14日に公表しました平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	115,000	2,300	2,600	1,200	13.32
今回修正予想(B)	104,400	1,570	1,940	330	3.66
増減額(B-A)	△ 10,600	△ 730	△ 660	△ 870	—
増減率 (%)	△ 9.2	△ 31.7	△ 25.4	△ 72.5	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	111,090	834	1,397	△ 1,401	△ 15.55

2. 平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	111,000	1,400	2,300	1,000	11.09
今回修正予想(B)	101,600	710	1,650	160	1.77
増減額(B-A)	△ 9,400	△ 690	△ 650	△ 840	—
増減率 (%)	△ 8.5	△ 49.3	△ 28.3	△ 84.0	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	107,294	783	1,921	△ 2,572	△ 28.53

3. 修正の理由

(連結)

当第3四半期までは概ね業績予想通りに推移しておりましたが、第4四半期に入って受注状況が予想以上に悪化するとともに、競争激化により受注価格の下落がさらに進みました。その結果、売上高、営業利益、経常利益とも前回予想を下回る見通しとなりました。

また、下記4記載の通り、当第4四半期において特別損失として、貸付金及び債務保証に関する引当金913百万円、子会社の棚卸差異91百万円等を計上することとなったため、当期純利益も前回予想を下回る見通しとなりました。

(個別)

連結業績と同様の要因により、個別予想においても売上高、営業利益、経常利益が前回予想を下回る見通しとなりました。

また、下記4記載の通り、当第4四半期において特別損失として、貸付金及び債務保証に関する引当金913百万円、関係会社株式評価損148百万円等を計上することとなったため、当期純利益も前回予想を下回る見通しとなりました。

4. 特別損失の計上

①関連会社の業績悪化に伴う特別損失

当社の関連会社（持分法適用）であるキョウドウネーションプリンティングサービシーズカンパニーリミテッドは、収益力が低下し、財務内容が悪化していることから、個別、連結にて貸付金及び債務保証に関する引当金913百万円を、個別にて関係会社株式評価損148百万円を計上いたします。なお、同社につきましては、現在、当社保有株式を合弁先に譲渡すべく交渉を進めており、結果が判明し次第、速やかに開示を行います。

②子会社で発生した棚卸差異に伴う特別損失

当社の連結子会社であるキョウドウプリンティングカンパニー（シンガポール）プライベートリミテッドにて発生した原材料在庫の棚卸差異について、特別損失として91百万円を計上いたします。この件に関しましては、一部、退職した従業員が不正に関与した疑いがあり、現在「調査委員会」を設置し、全容解明にむけ調査を開始しております。

(注)

上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上